

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会  
**【プライマリ緩和ケア研修会Ⅳ】のご案内**  
**医師・看護師用案内**

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。】

プライマリ・ケアで必須領域である緩和ケアに特化した研修会を開催します。  
 今回はプライマリ緩和ケア研修会シリーズ第4回として「食べられる口をつくる」、「緩和ケアにおけるTIPSその1・その2」、「シリーズ研修のまとめ」を行います。参加者は医師、看護師、薬剤師などです。先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。より専門性を高めて行ってまいりましたプライマリ緩和ケアシリーズ研修の最終回となります。奮ってご参加ください。

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会(プライマリ・ケア認定薬剤師研修会)、地域包括ケア委員会、多職種協働のあり方プロジェクトチーム、生涯教育委員会(生涯教育セミナー)
2	開催日	平成26年3月9日(日)
3	研修会場	(株)白寿生科学研究所本社ビル 2階会議室 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 案内図 <a href="http://www.hakujuhall.jp/access/index.html">http://www.hakujuhall.jp/access/index.html</a>
4	認定単位	1日参加で5単位 (医師のみ:プライマリ・ケア認定医・専門医の更新単位として付与)
5	受講資格	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療職、医療関係者
6	定員	80名(医師、看護師、薬剤師など)
7	受講申込	締切り: 平成26年2月25日(火)午後5時 別紙の専用FAX申込書による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご注意ください。
9	受講料	10000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は8000円 ※ 受講票送付後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
10	受講票送付	受講料の振込が確認された受講者には順次、受講票(ハガキ)を送付いたします。 ※ 受講票(ハガキ)を必ず当日ご持参ください。

※受講までの流れ

FAX送信申込 → 受講案内送付(振込) → 入金確認済み → 受講票送付 → 受講票を当日お持ち下さい

この研修会は公益社団法人 在宅医療助成 勇美財団の助成を受けています

\* 申 込 先 \* プライマリ・ケア認定薬剤師短期集中研修会事務局  
 〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-5-904 株式会社ヘルストラスト内  
 TEL(03)3409-4037 FAX(03)3409-4075

# プログラム

2014年3月9日(日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<b>① 食べられる口を作る—緩和ケアにおける医科歯科連携—</b> 講師:新谷浩和(歯科医師)  「口から食べること」は生きる喜びであり、自己実現と希望です。安全においしく食事することは、低栄養・脱水、誤嚥性肺炎予防にもなります。口腔での障害・不快・苦痛は本人のQOLに大きく影響を及ぼします。口腔機能の維持・向上には、本人・家族と共に、在宅、病院、施設等で、多職種協働により地域包括ケアを推進することが必要です。緩和ケア(がん患者と非がん疾患患者)での口腔のトラブルと対応、連携について考えましょう。 (細則による必須領域 A,D,G,J)
11:00～12:30	<b>② 緩和ケアにおけるTIPS その1</b> 講師:茅根義和(医師)  これまでの研修で取り上げることが出来なかった症状緩和の項目、緩和ケアを行うにあたって知っておく必要のある症状緩和についてまとめます。 その1では消化器症状の緩和と呼吸器症状の緩和について、そして終末期における輸液の考え方を取り上げます。ガイドラインに沿った症状緩和の概要と明日から在宅で使えるちょっとした工夫とコツ(TIPS)をお話する予定です。 (細則による必須領域 A,D,G,J)
12:30～13:20	昼食(各自でご持参ください)
13:20～14:50	<b>③ 緩和ケアにおけるTIPS その2</b> 講師:茅根義和(医師)  終末期の苦痛症状は時にどうしてもとりきれないことがあります。このような時に鎮静(終末期の持続的鎮静)を検討する必要があります。 その2では鎮静の考え方、導入までのプロセスについて講義とロールプレイを行う予定です。ロールプレイは鎮静を導入するにあたってのコミュニケーションを中心にを行います。また、在宅で患者さんを看取るためのコツについても最後にお話する予定です。 (細則による必須領域 A,D,G,J)
15:00～16:30	<b>④ シリーズまとめ —緩和ケアとプライマリ・ケア—</b> 講師:鈴木央(医師)  4回にわたる緩和ケア研修会はいかがであったでしょうか。1回だけ参加された方、全回参加された方、それぞれ到達点は異なると思いますが、最後にプライマリ・ケア、総合診療における緩和ケアとは何か、これらを地域で広げ、地域の患者さんたちに役立てるにはどうしたらよいか。皆さんで考えてみたいと思います。 症例を通してグループワークの中で皆さんの意見をお伺いしたいと思います。 (細則による必須領域 A,D,G,J)

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

## 【講師紹介】

新谷浩和(歯科医師) 新谷歯科医院

茅根義和(医師) 東芝病院 緩和医療科 部長

鈴木 央(医師) 鈴木内科医院副院長、日本プライマリ・ケア連合学会理事